

2017 AUTO BACS SUPER GT Round 1 「OKAYAMA GT300km RACE」

■開催日 予選 4月8日(土) 決勝 4月9日(日) ■開催地 岡山国際サーキット
■入場者数 予選 17,300人 決勝 27,000人



桜前線が北上する最中、2017年 SUPER GT シリーズが開幕を迎えた。LEXUS TEAM Weds Sport BANDOH は、昨年と同じ体制で挑むことになり、坂東正敬監督を筆頭にチームに加わって4年目の関口選手と、2年目を迎えた国本選手がタッグを組む。そして2017年の500クラスは全車がマシンを一新。LEXUS のみが車輛変更で RCF から LC500 にチェンジした。GT500クラスがDTMと同じレギュレーションにしてから2期目のニューマシンでの幕開けとなり、どのマシンが勝つのか?この開幕で戦闘力の高さを見せつける大事な1戦だ。LEXUS TEAM WedsSport BANDOH の予選は、ポールを獲得する自信はあった。Q1は順当に勝ち進み Q2につなげるも、Q2では波乱の展開でアタックできず悔いの残る予選となり6位で、決勝に臨むことに。迎えた翌日の決勝では、これ以上ない。と言わんばかりのレース展開に翻弄されるが、関口選手、国本選手のアグレッシブでありながら安定したレース展開で、6位でフィニッシュ。連続ポイント獲得を19戦に伸ばし、今後につながるレースとなった。また決勝結果もトップから上位6台が LEXUS 勢が独占する結果となった。

■予選 4月8日(土) 【6位】

□公式予選 天候：曇り | コース：ドライ | 気温/路面温度 Q1 開始時 19℃/21℃、
Q2 開始時 20℃/22℃、Q2 終了時 19℃/21℃

いよいよ迎えた開幕戦、予選は、ノーウエイトのガチンコ戦。

午前中に行われたフリー走行もウエット路面で始まり、その後、天候が回復するが、路面はとりあえず「ドライ」といった状況で、サーキットサファリが行われ、ピットウォーク前には開幕戦ならではの全参戦ドライバーによる集合写真撮影がおこなわれた。そして午後の予選が始まった。フリー走行では午前中 14 番手と苦しんだセットアップだったが午後の予選に向けて大きくセットを変更して予選に望んだ。まずは GT300 クラスから始まった。しかし予選が中盤にさしかかったところで赤旗中断となり、その間に小雨がぱらつき始めた。天候が不安な中、GT500 クラスの予選が 10 分遅れで始まった。まずは、6 号車が先陣を切ってコースへ。続いて 8 号車が。そして 19 号車 WedsSport ADVAN LC500 の Q1 をアタックする関口選手がコースイン。残りの 12 台はまず様子見といったところかピットで待機し、残り時間が半分を切ったところで全車が顔をそろえた。残り 4 分を切ったところで、関口選手は 1'18.591 のタイムをマークし、暫定 3 位につけた関口選手だったが、終了間際に、同じ LEXUS 勢の 38 号車が 1'18.521 のタイムをマークしトップに躍り出た。これにより 4 位で Q2 への切符を手にした 19 号車 WedsSport ADVAN LC500 を操る関口選手は「車よくなった、引っかけなければもうちょっとイケたよ。ポールタイムも全然見える。」とコメントを残し、国本選手へバトンを渡した。Q1 の結果は 0.454 秒以内に 8 台が収まり、トップの 38 号車と 19 号車のタイム差はわずか 0.07 秒差という僅差での戦いとなった。

そして、GT300 クラスの Q2 でまたもや赤旗中断となり、GT500 クラスの予選が始まったのは、20 分押して 16 時 15 分から。パドンを受け取った国本選手も早々にコースへ出ていき、タイヤを温める。徐々にタイムを縮めるが、のこり 2 分の時点で小雨。さあこれからアタックと思ったが 36 号車のクラッシュで赤旗中断となり、その後再開されるが、すぐに 16 号車の車輛トラブルで、再度赤旗中断。この時点で 1 分を切ってしまったことにより、Q2 は終了してしまう。ほとんどのチームがアタックをかけていない状態。赤旗の原因を作ってしまった車輛はタイム抹消という結果になった。国本選手もこれからアタックする矢先の相次ぐ赤旗中断で、悔しくもアタックできず 19 号車 WedsSport ADVAN LC500 は 1'28.347 のタイムで 6 位にランキングされる結果となった。トップは、8 号車 ARTA NSX-GT、2 位、6 号車 WAKO' S 4CL LC500、3 位 37 号車 KeePer TOM' S LC500 という結果に。

国本選手もこれからアタックする矢先の相次ぐ赤旗中断で、悔しくもアタックできず 19 号車 WedsSport ADVAN LC500 は 1'28.347 のタイムで 6 位にランキングされる結果となった。トップは、8 号車 ARTA NSX-GT、2 位、6 号車 WAKO' S 4CL LC500、3 位 37 号車 KeePer TOM' S LC500 という結果に。

国本選手もこれからアタックする矢先の相次ぐ赤旗中断で、悔しくもアタックできず 19 号車 WedsSport ADVAN LC500 は 1'28.347 のタイムで 6 位にランキングされる結果となった。トップは、8 号車 ARTA NSX-GT、2 位、6 号車 WAKO' S 4CL LC500、3 位 37 号車 KeePer TOM' S LC500 という結果に。



WedsSport

YOKOHAMA 100

LEXUS

Racing Development
TRD



DRIVE
ENERGY DRINK

truevisions

NUTEC

OGURA
CLUTCH

SHINKO

HOKUAI
Vets
Hokukai Vets .Ltd

Jms
TACTI

AUTOMOBILE PARTS
KOBAYASHI CO INC

宮田自動車商会
MIYATA

OgawaTire
タイヤカーテンバコフ

Lucky Red Devils
SINCE 1991 U.S.A.

BRIDE

YUMI FURUSATO

KBC
KEVIN GONG

RACING PROJECT
BANDOH

WedsSport

YOKOHAMA 100

LEXUS

Racing Development TRD



DRIVE ENERGY DRINK

true visions

NUTEC

OGURA CLUTCH

SHINKO



AUTOMOBILE PARTS KOBAYASHI CO INC

宮田自動車商会

OgawaTire タイヤカーデンオガワ



RACING PROJECT BANDOH

■決勝 4月9日(日)【6位】

□天候:曇り | コース:ドライ | 気温/路面温度 開始:19度/25度>中盤:17度/19度

一夜明けて迎えた決勝日。朝方は雨の影響が残るコース上も、天候の回復とともに路面はドライコンディションに。朝から詰掛けた大勢のレースファンが見守る中、2017年のシリーズが幕を開けた。しかし、決勝レースが始まる前から大波乱の展開に。まず、オープニングラップからフォーメーションラップにかけてトップの8号車、5位の17号車のホンダ勢がマシントラブルでストップ。ピットに戻ってしまった。当然ではあるが、SCが介入し、この一連の騒ぎで決勝レースは81ラップで戦うことになった。そのためトップは6号車。19号車 WedsSport ADVAN LC500のスタートを務める関口選手は実質4番手からのスタートとなった。再スタートを切った後はクリーンなレース展開でトップの3台が一つの集団となり、少し遅れて、19号車を先頭に16号車、36号車と続き、4位争いが白熱した。しかし早くも6ラップを数えたところで300クラスのマシンが大きくクラッシュし、2回目のSC介入となり、その矢先100号車がマシントラブルでコース上にマシンを止める。しかしすぐに走り出したが、また失速し100号車は戦線離脱を余儀なくされた。そしてレースは振り出しに戻り11ラップ目から再開された。12ラップを迎えたころにはトップから6台がLEXUS勢が占めるとい



う展開になり、LEXUS勢のトップ争いが3台、19号車を含める4位争いが激化してきた。場内を沸かせるレース展開を見せる関口選手は、ライバルの厳しい追い上げに耐えるが、25ラップ目には1号車と接近戦になり、コースアウトを潔くしてしまい6位にポジションを置くが、その後は安定したレース展開で、33ラップ目にピットイン。19号車 WedsSport ADVAN LC500は国本選手を乗せ、再び戦列へ。40ラップを経過したところでGT500全車がピットインを終え、6位を走行する19号車 WedsSport ADVAN LC500。

国本選手は安定した走りで7位のライバルにマージンを築くが、53ラップ目にまたもや300クラスのマシンがクラッシュ。3回目のSC介入となった。7位のライバルに築いたマージンもなくなったが、61ラップ目にリスタートを切り、レースを展開する。300クラスが絡みだす69ラップ目を過ぎたころには徐々に前を行く36号車近づき始め77ラップ目にはついには追いついた。抜きどころのない狭いコースにも関わらず、猛追をし始める国本選手。厳しいレース展開にポジションを上げることは叶わずとも、6位でフィニッシュし2017年の幕開け、19号車 WedsSport ADVAN LC500をゴールへと導いた。

関口選手、国本選手のコンビは2年目を迎えて、ますます磨きのかかったレースを展開するこのコンビのおかげもあって、連続ポイント獲得は19戦となり、今後のレースに期待のかかる一戦となった。

■関口雄飛選手コメント



僕のステイントは昨日とは路面温度が10度下がっていてペースを上げられず前を追うことが難しくなってきました。徐々に後ろの2台に追い詰められてしまいましたが、同じLEXUS勢ですけど簡単に抜かれたくはないので意地を見せましたが、今日はいまうまいか結果として悔しいです。後半は国本選手がうまくレースをしてくれて、富士のレースを見据えたタイヤ選択で、安定したタイムで走っていたので良かったと思います。毎年、岡山は苦手としていますがここ4年間のレースの中で一番上位でしたので、次の富士も少し苦手なところもありますが昨年以上の結果を残せるように頑張ります。その後にLEXUS、YOKOHAMAが得意とするオートポリスが控えているので楽しみです。まずは富士で結果を残して3戦4戦につなげたいと思います。応援ありがとうございました。

RACING PROJECT BANDOH YOU TUBE

<https://www.youtube.com/watch?v=OXeGHikiteE&t=4s>

■国本雄資選手コメント



決勝6位でした。前半は関口選手からスタートして後半は僕が走りました。前半では少し前との差があり、厳しい展開だったんですが後半はコンスタントに走ることができて、前の36号車を追いかけながら走ることができました。

しかし改善しないといけない部分もあるので、しっかりチームと話し合っ

RACING PROJECT BANDOH YOU TUBE

<https://www.youtube.com/watch?v=TVMWgz1Utwx>

WedsSport

YOKOHAMA

LEXUS

Racing Development
TRD



DRIVE
ENERGY DRINK

true visions

NUTEC

OGURA
CLUTCH

SHINKO

HOKUAI
Vets
Hokuai Vets .Ltd

Jms
TACTI

AUTOMOBILE PARTS
KOBAYASHI CO INC

宮田自動車商会

OgawaTire
タイヤカーテンオガワ

Lucky Red Devils
SINCE 1991 U.S.A.

BRIDE

YUMI FURUSATO

KEC
TECHNOLOGIC

RACING PROJECT
BANDO H

■坂東正敬監督コメント



LEXUS が圧勝ということで非常に嬉しい。1位から6位までがLEXUSが独占したんですが結果は6位。非常に悔しい。応援してくれるスポンサーさんやファンの皆さんに国内での勝利を約束していたので、本当に申し訳ないという気持ちでいっぱいです。

次の富士に向けてデータを見直して挑みたいと思います。たくさんの応援、ありがとうございました。本当にLEXUS及びTRDさんの開発によって素晴らしいマシンで開幕を迎える事が出来ました。本当にありがとうございます。このLC500を武器に横浜ゴムと一緒にウェッズチームは頑張りますので今後とも応援よろしくお願ひします。

RACING PROJECT BANDO H YOU TUBE

<https://www.youtube.com/watch?v=NHu9DBQd0gk>

【Racing Project BANDO H has opened a YouTube channel】

レーシングプロジェクトバンドウのYoutubeチャンネル誕生。

サーキットの興奮をダイレクトにお茶の間にお届けします。

是非、チャンネル登録を！！

<https://www.youtube.com/channel/UCDTRz5QdXviv6VLLJLrDrCw/videos>

